

各会計に対する各会派の賛否

会計	結果	自民	公明	未来	共産	品改	維新
一般会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
国民健康保険事業会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
後期高齢者医療特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
介護保険特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
災害復旧特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
【修正案】一般会計	否決	反対	反対	反対	賛成	反対	反対
【修正案】国民健康保険事業会計	否決	反対	反対	反対	賛成	反対	反対

令和6年度予算に対する各会派の意見表明

※各会派から提出されたものを原文のとおり掲載しています。

日本共産党品川区議団

予算案には、小中学校への学用品無償化、介護・障害者福祉従事者の待遇改善、補聴器購入費助成等の所得制限の撤廃、救急代理通報システム等の無料化など数多くの住民要望が盛り込まれた。住宅耐震化へ建替えのための除却助成と感震ブレイカー助成の全域拡大、耐震診断費用の無料化など防災対策の前進、ジェンダー平等推進条例も大きな一歩。請願・陳情など住民運動と結んだ共産党の議会論戦で繰り返し求めてきたものであり大きく評価する。

一方、区立保育園の削減・民間売渡し方針検討の具体化。福祉も23区で唯一地域包括支援センターを地域に設置せず介護のサービスマ量は23区で最低。特養・老健、障害者GHや就労施設整備率は23区で最低水準のまま。また、住民を追い出し、持続不可能な超高層再開発には68億円余の開発関連予算を計上。さらに、この物価高の下でも国保や後期高齢者医療、介護の保険料のトリプル値上げ。区政の姿勢が転換したとは言えない。

共産党は、予算の使い方を暮らし・福祉優先に切り替え、看過できない不要の予算を削除し、22項目の事業を実現させるため、予算修正案を提出した。今回の前進面を更に進めて、23区最低の福祉の改善への転換を求める。

品川区議会自民党・無所属の会

品川区議会自民党・無所属の会は、令和6年度品川区一般会計、国民健康保険事業会計、同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計、同災害復旧特別会計の各予算原案に賛成します。修正案には反対します。

森澤区長が区長選でお示された一般会計予算の1%、20億円を捻出することができたこと大変評価します。また区が直面する課題を積極的に解決すべく編成されました。

私たちの要望の多くが反映された予算案、木造住宅の耐震化支援、マンション防災対策、新庁舎整備、高齢者・障害者福祉の充実、水辺の利活用、町会・自治会への支援、ペットと安心して暮らせるまちの環境整備、いじめ防止対策の強化、病児・病後保育の拠点拡大、部活動地域移行、しながわシティランに向けての準備、グリーンインフラ整備、商店街支援など委員会質疑を行いました。

社会経済状況の大きな変化や予測不可能な事柄を的確に捉え区政運営に努められる事を期待します。

予算審査で各議員が行った提案、提言が十分に事業執行に反映され、更なる区民福祉の向上が図られることを望み意見表明とします。

品川改革連合

令和6年度の一般会計、国民健康保険事業会計と、後期高齢者医療・介護保険・災害復旧の特別会計の各予算に賛成します。一般会計と国民健康保険事業会計の予算修正案に反対します。

賃上げで収入増になる層がある一方で、大半の国民は収入が増えない中で税金等の負担増、競争や異常な円安で光熱費や物価が高騰し、国民の家計と企業経営は悪化しています。中小企業は買い控えや節約で消費減少により経営が悪化し、値上げも出来ず人手不足と資金難で融資返済もできず廃業や倒産が増えているので、区は支援に一層取り組んで頂きたい。介護・保育・幼稚園関係者の賃上げと労働環境を改善すると共に、子どもや高齢者を予約なしで何時でも預けられる施設を開設するべきです。また羽田新飛行ルートの変更を国に働き続けて頂きたい。高額所得者には社会保障費の負担増をお願いし行き詰まる福祉を支えて頂きたい。さらに教員や職員を区が独自に採用し、若手の生活環境の負担減を図り、人材の確保と育成に努めて頂きたい。社会の急速な変化により学校教育はさまざまな問題が起きているので、教育委員会は区長と共に、子ども達を守って頂きたい。悲惨なウクライナ侵攻や中東紛争などを人類は止めるべきです。

品川区議会公明党

公明党は、所得制限により対象者を限定せず、また、経済的負担を取り除くことで、福祉や教育など人間として必要なサービスを誰もが享受できるベーシックなサービスの実現に努めました。また、行政評価シートの活用により事業の効率化と財源の確保など新公会計制度の効果も顕著に表れ、過去最大の予算規模となりました。

来年度予算では、学用品と高齢者インフルエンザワクチン接種費用の無償化、補聴器購入費助成の所得制限の撤廃が実現される他、産後ケア・ネウボラ関連事業、未就園児定期的預かり保育、すまいるスクール仕出し弁当、あたまの元気度チェック、eスポーツの活用、AEDのコンビニ配置、HPVワクチンの男性接種、ゼロカーボンや食品ロス削減及びプラスチック排出抑制、戸建て住宅防犯カメラ設置等、舟運の定期化、キャッシュレス決済ポイント還元なども予算化されました。

その結果、高齢者・障がい者関連予算は前年度比6.7%、子育て関連予算は5.2%の伸びとなるなど、対象世代や施策分野のバランスに配慮した予算と認識します。

防災、高齢者まるごと支援、障がい者就労、若者相談体制等の意見を、今後の区政へ活かすよう要望します。

品川区議会日本維新の会

品川区議会日本維新の会は、区民の声が反映された今回の予算案を高く評価します。何故こうした予算案が可能になったのかについて、一つには森澤区長が組織・団体支援を受けていない事が挙げられると考えます。従前届きにくかった方々の声が届いた結果ではないかと考えます。

一方、より多くの声を聴くという事は、限られた財源の下これまで以上に政策に対してシビアな優先順位付け、取捨選択が必要になるという事です。

当会派としては、政策類型毎に異なる優先順位付けの基準が必要と考えます。例えばシティープロモーションや産業振興においては選択と集中、子ども達に関する政策については自己責任論に帰する事はできないという視点、生活支援に関してはより困難を抱えた方々を優先する事が公正・公平に資するという観点、さらに、事業の必要性等は時代と共に変わりゆくため弛まぬ見直しを行わなければなりません。

予算特別委員会においてもこうした基準から質疑を行わせて頂きました。区におかれましては、当会派各委員の質疑の中で指摘・提案した点について検討され、予算の執行や今後の施策に反映して頂くよう要望し、品川区議会日本維新の会の意見表明と致します。

しながわ未来（無所属・立憲・ネット）

しながわ未来は、昨年の会派結成以来、区長や行政に対し、今回の予算特別委員会をはじめ、政策要望や一般質問、決算、各常任委員会での質問などを通じて、区民サービスの更なる向上など様々な要望をしてきました。その中で、区内経済の活性化推進、DX化推進や新技術の活用推進、子育て世帯や高齢者、障害者等の区民生活支援強化、学校教育強化、防災対策強化等、特徴的な施策を盛り込み、変化の激しい時代のニーズを捉えて柔軟に対応した積極的予算としたことを評価いたします。

今後もAIやIoTなどの最先端技術の活用や利便性、効率化向上につながるデジタル化の更なる推進、産前産後・子育て支援の充実、学校教育の充実、障害者福祉・高齢者福祉施策の充実、地域経済活性化施策の推進、防災対策の強化、環境対策の推進、庁舎建て替えと庁舎跡地の活用、羽田新ルート問題、多様性の推進、職員人材育成強化、デジタル地域通貨やポイントサービスの推進など、各課題への積極的な取り組みを着実に進めるとともに、当会派の議員が質問の中で指摘・提案した各項目を真摯に受け止めて、引き続き、多様なニーズに迅速かつ柔軟な対応策の視点を持って、取り組んでいただきますようお願いいたします。